

# さんぽみち



連絡先

鶴の木特別出張所

☎ 3750-4241

発行 わがまち大田鶴の木地区推進委員会



こんなに、拾ったよ！

午後二時三〇分、小学生及び各団体が手に手に袋を持ち、町内清掃へ。小学生は白い手袋をして、日頃お世話になっている堤へと元気なゴミ拾いに向かいました。大きくなくなった袋を手に手に、御苦労様。町はきれいになりました。町内の参加者四〇名、三三五五と袋を持ち町の中へ。男性は電柱のビラはがしに懸命でした。

「明日風が吹いたら又すぐ駄目ネ。家の周り位自分で気をつけて、そして皆一人一人がゴミに対して関心をもち、きれいな町にしていきたいと



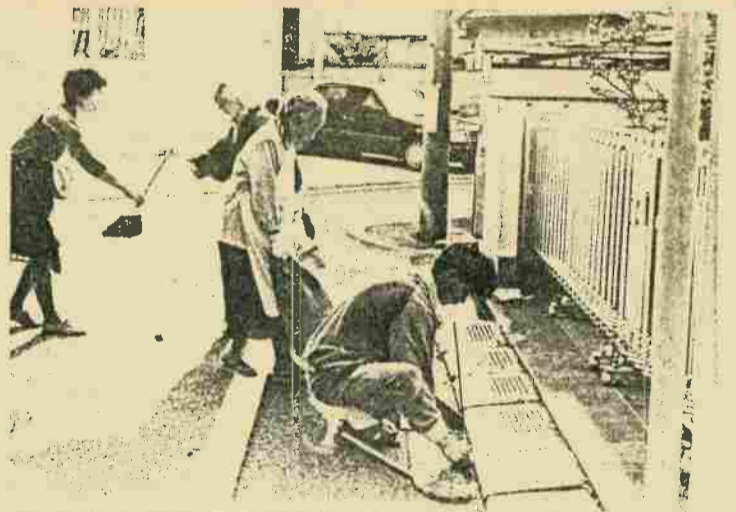
ガリガリガリ……  
なかなかとれません。

## クリーンアップ大作戦に

## 九八五名が大奮闘！

一〇月二三日(金)、鶴の木特別出張所管内の七町会ではクリーンアップデイと銘打った大がかりな一斉清掃が実施された。主催する鶴の木地区管内の町会・わがまち大田推進委員会・青少年対策委員会・小学校等の皆さん、他、後援くださる調布清掃事務所・大田区土木第二課・公園課・鶴の木特別出張所・建設省田園調布出張所・東京電力大田支社等の方々の応援を得て、管内の公園・道路・公共施設・多摩川河川敷等のゴミ・空缶の収集や清掃、電柱のビラはがし、放置自転車への警告並びに整理等々の清掃作業が行われた。

この試みは大田区内では他に例を見ない当地域独自の事業、いわば「オリジナル事業」である。今回の一斉清掃で収集されたゴミの総量は、余り自慢にならないが、約半トンもの量に及んだ。実際清掃作業に参加して感じたことは、空地や駐車場の周辺にはゴミや空缶の投げ捨てが多い。せつかく綺麗にカラー舗装されたふれあい道路も心ないチューインガムの吐き捨てで汚れが目立つ放置自転車に至っては駅周辺に限らず町内にも散在する。電柱に貼られたビラは、強力な接着剤でその存在を誇示しているようだ。最近地球ぐるみの環境問題が問われる時代であるが、先ず最も身近な私達の住む周辺に目を向けるのも意義深いものではないか。一斉清掃に参加した方々の投ずる「奉仕と熱意」の一石に、一人でも多くの理解と協力を得、この事業の輪が大きく広がり、私達の住む町・街が、「清潔で住みよい環境」になることを熱望しよう。(R・K)



思う」というのが参加者の感想でした。

我が鶴の木三丁目町会は、収集した燃えるゴミが袋二二個分、燃えないゴミが袋五個分、放置自転車は一〇台以上でした。(E・C)



敬老行事にちなみ(川柳)

千鳥二丁目 倉方勝雄  
お父さんはね、覚東なくとも生きてる

・軍人勲論まだ覚えてる物忘れ  
・老いらくの恋は冷酒の口あたり  
・もう六十 まだ六十と紅を引き  
・美しく老いるにやはり金が必要  
・八十のカラオケもまた粹なこと  
・用のない電話をくれた嬉しい日  
・私と言う人からのいい電話

リサイクル運動について  
千鳥一丁目 川上智由  
美化モデル地区に指定された機会をとらえ、町会員の合意のもとに第一回目(九月六日(金))が実施され、成果は古紙等で一・七七トン、業者引取代金一、五五〇円であった。町会員と役員の協力の結果がこれでは今後の持続性ある活動が危惧される。

ゴミ戦争の中、資源回収団体及び業者に対する行政のきめ細かい対応がせまられているといえる。

### 回覧

# わがまち有名人

今回は、南久が原一丁目にお住まいの星野美根子さんに、星野さんの祖父にあたるられる、玉置真吉さんを紹介していただきました。

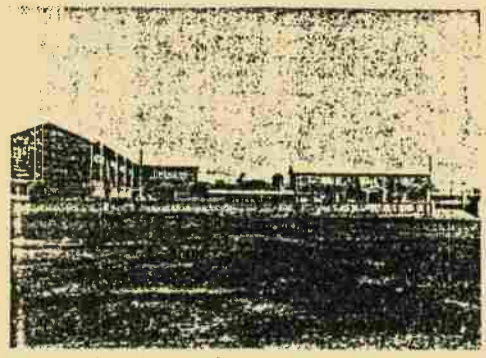
「玉置さんの所で、一つ模範的な教室を開いてくれませんか？」  
 当時の池上警察署長さんからの言葉で、祖父が当地に教室を開いて四十年余りたちました。住宅地のため、よい雰囲気のまま今日までこれまして嬉しく思っています。  
 祖父・玉置真吉は社交ダンスの草分けと紹介されます。私が勉強の為に講習会等に出席すると、講師の方から、「玉置先生の本で勉強したものです」とよく声をかけていただいたものです。  
 祖父はとても勉強家で、「原稿料が入ると本を買ってしまう」と祖母が言っていました。  
 当時は手に入りにくかった洋書がたくさんあり、「船で二、三カ

月かかるんだよ」と祖父が話してくれたことを覚えています。国立音楽大学附属高校等で教鞭をとった祖父は、「なかなか覚えられない、うまく出来るようにならないお弟子さんこそ教師を育てるのだよ。どうしたら上達するかと悩み考え、指導法を工夫するから」と言っていたそうです。又、その著書の中で、祖母への感謝として、『今日私は本を全国にばらまいて幾分人に知られ、(中略)いろいろしていただけるのも、私に三分妻に七分の功があると思ひ感謝しています』とあります。  
 真面目で少し頑固でやさしいおじいちゃんでした。

## 今昔 うつりかわり

南久が原一丁目 蓮池 攻  
 早いもので卒業して三十四年の年月が過ぎました。その頃の校庭の西には貝塚跡が有り、その南と北に住宅が数軒あるだけでした。

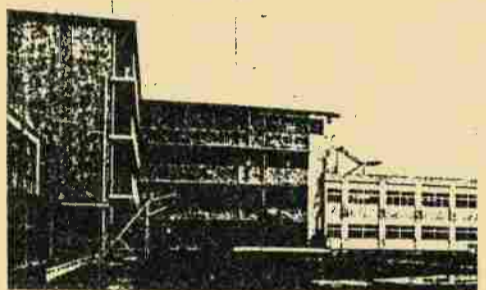
又校舎側には住宅が数多く有ったと思います。校舎は木造二階建てでプールはなく、現在の体育館が有り、各クラス共六十人弱の友達と机を並べて居り、現在の少人数の環境の変化に眼を見張っています。  
 (大森七中十二期卒)



↑ 昭26年頃の七中

「黎明」創立30周年記念特集号より

昭52年頃の七中 ↓



**イラストマップ**

東急目黒線  
 本正11年、目黒蒲田電鉄(株)として創立。車務は五島慶太氏  
 本正12年 3月に 目黒～多摩川間が開通。  
 同年 11月に 多摩川～蒲田間が開通。

増明院 青林山と号し  
 真言宗 智山派  
 玉川八十八ヶ所 第五十八番札所

NHKテレビで、秋田県の鶴の木小学校が放映されたのがきっかけとなり、所お池の一環として企画される。岩手、埼玉、新潟、山梨、福岡、宮崎県に「鶴の木」が存在しているのか。

平成元年から全国鶴の木のまつり開催

光明寺池  
 多摩堤通に面し 古多摩川の流路であったと伝えられる。  
 新田義興が矢口川を築いて築山池の川筋は、この池が新田神社裏に抜ける矢口川を通っていたといわれている

目黒 文京高校 鶴の木 光明寺 光明寺池 古多摩川 矢口川

## リレーエッセイ

電柱さんこんにちは 南久が原二丁目 池田 進太郎

十月二十三日、鶉の木特別出張所管内一斉清掃が行われました。私達の町内に電柱がどの位あるのだろうかと考えながらピラはがしに取り組みました。貼付する方は、ピラはがしがれない、又はがされないように、べったり貼りつける。私も懸命にへらではがす、な

かなかはがれない。一枚はがすのに二十分位時間を費やしたピラもあつた。ようやくきれいになった電柱を見ながら、美観をそこないよう電柱を可愛がってもらいたい。

次は平川洋夫氏にリレーします。

## 俳句

鶉の木二丁目 小原 紫光 (茂)

秋 遍 路

つまずきし石片寄せて秋遍路

威銃またおどしづつ村富めりり

牛蒡掘り何だかんだと出てゆけり

ほんものの酒を注がせて村芝居

秋さぶや鯉に寄られて何もなし

## 編集後記

編集委員一同悪戦苦闘しながらの「さんぼみち」第四号をお届け致します。これからも皆様に待ちこがれられるような紙面作りに取り組み、頑張っ行ってきますのでよろしくお願ひ申し上げます。どうぞ皆様、身近な出来事・感想など鶉の木特別出張所へ原稿をお寄せ下さい。  
 (S・I)

